

の侵害刺激を受容する吻側延髄腹側部ニューロンの電気生理学的特性. 第 51 回新潟歯学会総会, 新潟, 2018 年 4 月 21 日.

- 20) 黒瀬雅之, 長谷川真奈, 岡本圭一郎, 清水志保, 藤井規孝, 山村健介: 強制水泳ストレスは顎顔面領域における吻側延髄腹側部での侵害受容を変調する. 第 51 回新潟歯学会総会, 新潟, 2018 年 4 月 21 日.

【研究会発表】

- 1) 立野裕洋, 林豊彦, 佐藤拓実, 中村太, 奥村暢旦, 藤井規孝: 歯科治療のための I 級窩洞形成におけるタービンの動作解析. ME とバイオサイバネティクス研究会 (MBE), 愛知, 2018 年 12 月 15 日.

【受賞】

- 1) 藤井規孝: 第 16 回日本歯科医学教育学会優秀論文賞 (日本歯科医学教育学会雑誌 33(1):4-11, 2017), 第 37 回日本歯科医学教育学会. 第 37 回日本歯科医学教育学会総会および学術大会, 郡山, 2018 年 7 月 28 日.
- 2) 阿部朋子, 奥村暢旦, 石崎裕子, 伊藤晴江, 塩見晶, 長谷川真奈, 藤井規孝: 形成量の可視化が有効であった前歯部反対咬合歯冠修復の経験. 若手ポスター発表最優秀賞. 第 11 回日本総合歯科学会総会・学術大会, 鹿児島, 2018 年 10 月 27 日.
- 3) 山中秀敏, 伊藤晴江, 奥村暢旦, 石崎裕子, 塩見晶, 長谷川真奈, 藤井規孝: 顎位が安定しない患者への咬合分析の試み. 若手ポスター発表優秀賞. 第 11 回日本総合歯科学会総会・学術大会, 鹿児島, 2018 年 10 月 27 日.

【その他】

- 1) 藤井規孝: 歯学系臨床能力試験について. 共用試験 OSCE と臨床能力試験の試験成績の解析と評価のあり方の検討. 共用試験実施評価機構信頼性向上専門部会第 14 回講演会, 2018.10.23.
- 2) 藤井規孝: Post-CC OSCE の概要と新潟大学の取り組み. 新潟大学歯学部 FD 講演会. 2019. 1.23.

インプラント治療部

【著書】

- 1) Hibi H, Katagiri et al. The Sinus Bone Graft, Third Edition (Edited by Ole T. Jensen), 235-243, QUINTESSENCE PUBLISHING, IL, 2018.
- 2) 片桐 渉, 竹内涼子, 遠藤 諭, 齋藤直朗, 長谷部大地, 船山昭典, 小林正治: 幹細胞培養上清・エク

ソームを用いた骨再生医療の開発. 第 22 回顎顔面インプラント学会総会・学術大会, 東京, 2018 年 12 月 1-2 日, Jpn J Maxillo Facial Implants 17(3): 216 頁, 2018.

- 3) 久保田健彦 特定非営利活動法人 日本歯周病学会編 「歯周病患者における口腔インプラント治療指針 2018」

【論文】

- 1) Takashima M, Arai Y, Kawamura A, Uoshima K. Risk factors associated with post-loading implant loss of removable and fixed implant-supported prostheses in edentulous jaws. J Prosthodont Res. 62(3) 2018 Jul365-369
- 2) Tanaka M, Yamashita-Mikami E, Akazawa K, Yoshizawa M, Arai Y, Ejiri. Trabecular bone microstructure and mineral density in human residual ridge at various intervals over a long period after tooth extraction. Clin Implant Dent Relat Res. 20(3) 2018 Jun 375-383

【学会発表】

- 1) Yuji Katsumi, Hideyuki Hoshina, Hideaki Imai, Kohya Uematsu, Masaki Nagata, Katsumi Uoshima, Ritsuo Takagi. Bone Augmentation using cultured periosteal sheets for a patient with severe atrophic alveolar ridge due to congenital anodontia: a case report Academy of Osseointegration 132 14-16 Mar. 2019 Washington D.C., USA
- 2) K.Uematsu,H.hoshina,Y.Arai,M.nagata,Y.Katsumi,H.imai,K.Yamada,S.Ogawa,K.Uoshima A Case in Which Only Harvested Intraoral Bone was Used for the Extensive Bone Augmentation for Bilateral Maxillary Sinus by Applying Cultured Periosteal Sheets Academy of Osseointegration 170 14-16 Mar. 2019 Washington D.C., USA
- 3) H.imai,H.Hoshina,K.Uematsu,K.Yamada,S.Ogawa,Y.Katsumi,K.Uoshima,R.Takagi Functional Reconstruction Using Distraction Osteogenesis(DO) and Implant Treatment for a Bone Defect After Surgery for Mandibular Infantile Fibromatosis:A Case Report Academy of Osseointegration 86 14-16 Mar. 2019 Washington D.C., USA
- 4) 小松康高, 安田忠司, 高橋貫之, 久保田健彦, 山本敦彦, 津守紀昌, 渋谷俊昭, 梅田誠, 吉江弘正 Er: YAG レーザーによるインプラント周囲炎に対する LPS 除去, および再生外科治療の効果について. 第 61 回秋季日本歯周病学会学術大会, 132 2018 年 10

月 26 日 大阪市

- 5) 鶴巻 浩, 渡部桃子, 大竹涼介 抗血小板療法中の患者に対する全顎インプラント治療の経験. 第 27 回日本有病者歯科医療学会総会 138 2018 年 3 月 22-24 日 江戸川区
- 6) 勝見祐二, 高木律男, 大島勇人 口底部静脈の走向様式と手術関連出血リスクの評価. 第 63 回日本口腔外科学会総会・学術大会 217 2018 年 11 月 2-4 日 千葉市
- 7) 勝見祐二, 星名秀行, 永田昌毅, 魚島勝美, 高木律男 上下顎無菌症に対し自家培養骨膜細胞併用顎堤形成術後インプラント治療を施行した 1 例. 第 105 回関東形成外科学会新潟地方会 2 2018 年 7 月 27 日 新潟市
- 8) 上松晃也, 星名秀行, 荒井良明, 山田一穂, 今井秀明 上顎無菌症 IOD の経過不良に対し骨造成を伴う固定性補綴へと治療方針を変更し奏効した 1 例 第 48 回日本口腔インプラント学会学術大会・総会 202 9 月 14-16 日 大阪市
- 9) 今井秀明, 星名秀行, 上松晃也, 山田一穂, 小川信, 魚島勝美, 高木律男 下顎小児線維腫症術後の骨欠損に対して骨延長, インプラント治療により機能再建した 1 例 第 22 回顎顔面インプラント学会総会・学術大会 185 2018 年 12 月 1-2 日 江東区

【その他】

- 1) 勝見祐二: 日本顎顔面インプラント学会 専門医 登録番号 SP049 号, 認定期間 (2018 年 4 月 1 日-2023 年 3 月 31 日), 2018 年 4 月 1 日認定.

【研究費獲得】

- 1) 勝見祐二: インプラント手術における口底部静脈のリスク評価と動脈走行の予測. 平成 28-30 年度 日本学術振興会科学研究補助金, 若手研究(B), 計 3,900 千円. 16K20535.
- 2) 星名秀行 (研究分担者 永田昌毅): RGD 配列に富む細胞高親和性リコンビナントペプチドからなる骨再生足場素材の開発. 平成 29-31 年度 日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究(C), 計 3,600 千円. 17K11801.
- 3) 奥田一博: インプラント周囲炎の治療予後に影響を与える組織特異的幹細胞傷害の可能性を探る. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 17K11799, 2018.
- 4) 魚島 勝美: 骨質 (コラーゲン) が骨代謝に及ぼす影響とそのメカニズムを探る. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (B), 26293408, 2017.

顎関節治療部

【論文】

- 1) Takashima M, Arai Y, Kawamura A, Uoshima K. Risk factors associated with post-loading implant loss of removable and fixed implant-supported prostheses in edentulous jaws. *J Prosthodont Res.* 2018 Jul;62(3):365-369
- 2) Tanaka M, Yamashita-Mikami E, Akazawa K, Yoshizawa M, Arai Y, Ejiri. Trabecular bone microstructure and mineral density in human residual ridge at various intervals over a long period after tooth extraction. *Clin Implant Dent Relat Res.* 2018 Jun;20(3):375-383
- 3) Nagai K, Domon H, Maekawa T, Oda M, Hiyoshi T, Tamura H, Yonezawa D, Arai Y, Yokoji M, Tabeta K, Habuka R, Saitoh A, Yamaguchi M, Kawabata S, Terao Y. Pneumococcal DNA-binding proteins released through autolysis induce the production of proinflammatory cytokines via toll-like receptor 4. *Cell Immunol.* 2018 Mar;325:14-22.
- 4) Mikami T, Kato Y, Kojima T, Abe T, Maruyama S, Nishiyama H, Hayashi T, Kobayashi T: An unusual and difficult diagnosis of synovial chondromatosis: A case report. *Oral Maxillofac Surg Med Pathol* 30(5): 422-427, 2018.
- 5) Nikkuni Y, Nishiyama H, Hyayashi T: The relationship between masseter muscle pain and T2 values in temporomandibular joint disorders. *Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol* 126(4): 349-354, 2018.
- 6) Saito N, Funayama A, Arai Y, Suda D, Takata Y, Kobayashi T. Vertical distraction osteogenesis of a reconstructed mandible with a free vascularized fibula flap: a report of two cases. *Maxillofac Plast Reconstr Surg.* 2018 Nov 15;40(1):32. doi: 10.1186/s40902-018-0172-2.
- 7) 鈴木英弘, 池田順行, 八木 稔, 大貫尚志, 齋藤太郎, 高木律男: 学童期検診における開口量および開閉口時クリック音の縦断的調査. *日本顎関節学会雑誌* 30 (1): 51-58: 2018.
- 8) 荒井良明: 歯科衛生士の新しい役割覚醒時ブラキシズムの是正指導による力のコントロール. *群馬県歯科医学会雑誌* 2018 22 巻 7-11.

【商業誌】